

『市民生活における自然環境共生の 知見と身近な生物相の実態評価』

研究代表者：京都大学大学院地球環境学堂・教授 柴田 昌三

調査・研究概要

「ずっと住み続けたい京都^{ばしよ}，つくりませんか？」

京都に暮らす人びとがもつ生きものや自然とのつながり“市民の自然環境共生の知見”。京都市内の緑地，水系，山麓という三つの領域を軸に，そのつながりの現状と課題を明らかにし，次の数十年に向け私たちの行動を考えていくことが研究の大きな目標です。

現地調査，アンケート調査，ヒアリング調査などの手法を用いて，①街区単位での住宅庭，社寺林，街路樹などの緑地の総合評価，②河川における環境維持活動と生物相の関係性評価，③山麓の社寺庭園における野生動物との関係性評価ならびに周囲の参加型森林管理の現状評価，をそれぞれ実施します。三つの研究軸から示される課題や今後の方策を統合し，当研究室の既存の研究蓄積も生かしつつ，京都市の生物多様性地域戦略の策定プロセスと現実の生物多様性保全に貢献することを目指します。

調査・研究状況

緑地，河川，山麓の3チームからなり，それぞれ新野彬子さん（修士課程），小田龍聖さん（博士課程），東口涼さん（修士課程）をリーダーとして研究を進めています。

緑地チーム

上京区の桃園学区を対象に，これまで数軒の町家の住宅庭について実測図を作成し，植栽樹種の判定や生きものに関する情報の整理をしてきました。また，学区内の緑地の分布と住宅庭の関係性を把握するため，地理情報システム（GIS）を用いて航空写真から学区内の緑空間を地図化しています。



河川チーム

京都市スケールでの市民による河川環境維持活動に関する聞き取り，活動の参与観察をはじめ，東山区から左京区にかけての庭園や水系の生物環境調査，一学区1,200世帯を対象とする河川利用と生きものに関するアンケート調査に向けた企画調整を進めています。



研究だより

平成二十五年度 未来の京都創造研究事業

第2号

本事業は、大学の若手研究者等と京都市の担当部署が協力しあって調査・研究を進めることで、京都市の政策や事業に生かすことのできる、より実践的な研究成果の獲得を目指して二十一年度から公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市が共同で行っている事業です。今年度の第2号では指定課題「京都の伝統、文化や観光など京都ならではの魅力に生物多様性保全が果たす役割と今後必要とされる方策」に取り組んでおられる研究テーマについて、その内容を報告していただきます。

山麓チーム

三山の山麓に位置する寺社庭園約40か所を対象に、近年の野生動物の動向（シカなどの獣害ならびにその対策）に関する現地調査・アンケート調査を実施しています。さらに敷地に隣接する樹林への野生動物による影響を評価するための手法も開発しています。



緑地、水系、山麓における市民目線での生きものや自然との共生あるいは対峙の仕方、それらの継承にあたっての課題が明らかになりつつあります。

今後は三つのフィールドにおける調査をさらに深化させていきます。本研究の成果を基盤として生物多様性保全に関わる市の既存施策とも関連させながら、京都市の生物多様性地域戦略の策定と今後の取り組みに貢献できる京都らしい方策を提言していきたいと考えています。

研究者のプロフィール

「本調査・研究を統括している飯田さんの想い」

飯田義彦 京都大学大学院地球環境学舎 地球環境学専攻 博士後期課程

柴田研究室（地球環境学堂 景観生態保全論研究室／農学研究科 環境デザイン学研究室）

“世界の人たちにアピールできる”自然を生かした京都づくりに貢献したい、その想いもあり研究のとりまとめをしています。グローバル化する世界で、千年都市・京都にしかない市民と自然の結びつきこそ、京都が光り続けるエネルギー源ではないでしょうか。自然のリズムと社会のリズムをとりもつことに関心があります。



研究代表者である柴田先生（下段右から4人目）と、研究統括者である飯田さん（上段右から2人目）

編集後記

「楽しく新しい挑戦」

京都市の生物多様性保全に関して、過去の研究実績に加え京都市の担当部署からも協力を得つつ調査・研究に取り組んでいただいています。研究室のメンバーたちは8・9月の暑い中、みんな楽しそうに意欲的に調査を行いました。大変な取り組みですが、だからこそ、やりがいがあります。期待しましょう。

なお、今号から当事業のインターンシップ学生（京都府立大学・田中宏来さん）のデザインを採用しています。また2011・12年度の研究成果報告書がまだありますので、必要な方は事務局までお問い合わせください。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部 シンクタンク事業 水田、鳴海
E-mail : mirainokyoto@consortium.or.jp Tel : 075-708-5803 Fax : 075-353-9101